

巻頭言 / そこが知りたい

## 凄いぞ“空中出版流通” / 浅見編集長書房が9月に離陸

2006年7月現在、(株)不動産データ&ジャーナル社では、Web2.0(多彩なインターネットサービスの登場を総括する言葉。また、それらの技術がもたらす価値観やビジネス潮流の変化を説明する言葉/本誌10ページ参照)という概念がマーケティングやビジネスの現場に急速に浸透しようとしている中で、ロングテール型書店サイト(仮称「FDJ社/不動産業・浅見編集長書房」+ソフト)を9月初旬に立ち上げる予定で準備中です。

私のロングテール型書房というのは、出版点数をたくさんそろえて置けば仮に1人に1冊買って頂くだけでも販売部数は伸びる(だろう) というものなのですが.....

このサイトでは、メイン商品として、不動産業『これは凄いぞ/早速レポート』(30分マスターシリーズ/A4版16ページ)のミニ本(PDF出版/定価1,000円)を目標としては9月初旬に10点、年末までに50点、2007年春先までに100点超を投入し、ロングテールで月間に100冊程度を販売して行く予定(構想)です。現在、以下の企画・取材・編集が進行中です。

〔編集中〕 誰でもが勝利者/成功に向けた3つのWeb戦略とは 「サービスポリシー宣言」があなた(の会社)を救う/今すぐに宣言を! 家探しユーザー/これがネット探索の姿だ/[ライト&ヘビー]ユーザーエンジン検索行動の差異 新登場「お部屋探しCAFE ヘヤギメ!」とは何か

〔取材中〕 日本初/個人密着・CRM による会員制で100%ネット営業が大成功! ネット専業の仲介会社がベンチャー企業によってついに誕生 女性プロガー17人の美学と哲学 [米国シリーズ] アメリカの不動産業は“ニューフロンティア時代”?へ いまアメリカでは/こんな不動産プレゼンテーションが..... 全米NARグループ/MLSの新しい将来像を設計へ

**私**はかねてから、不動産業の発展に繋がる“旬なテーマ”を次から次ぎにリリースして行くミニ出版を考えていたのですが、これまでは「FDJ社/不動産業ブックレット」(小型本)シリーズの実現にとどまっておりました。

これは、印刷出版という型(時代背景もそうでありました)に囚われていたためなのですが、しかし2006年の夏になってWeb2.0時代が始まり、ロングテールという考え方を根底に据えることで、PDF出版という「在庫なし/送料なし」というWeb上の“空中出版流通”が射程距離に入ってきたことにいささかの興奮を覚えずにはられません。

しかし、盲点もたくさんありそうです! 出版点数をたくさんそろえるコスト 新しい出版物をアップにするコスト 書房をPRするコスト.....。それに、一番大きな問題として立ち塞がってくる購入代金の回収をどうするかといった問題.....などなど。

ですが.....ここで、ベースになる1番のものは、私の35年にわたる不動産業界紙の記者経験と1995年からのインターネットへの挑戦体験で学んできたこと(それは、Web2.0がとてもよく見える立場なのです!)。それに、今回の企画(書店の立ち上げ)に参加して頂いている若きコラボレーション・スタッフたち(彼らは、Web2.0のプレーヤーなのです!)の素晴らしい感性と行動力 があります。

やるからには、不動産業Web2.0の旗手(今のところはそう名乗らせて下さい)として全力を傾けるしかありません。ご期待と皆様からのご支援を是非!是非!